# 海洋と宇宙に関する産学連携セミナー　第4回
# 「船舶・海洋への宇宙利用：技術開発と産業振興の在り方を考える」

◆日時：2016年 1月28日（木）14:00～17:20（18:30～意見交換会）
1月29日（金）　9:00～12:40

北海道大学水産学部練習船「おしょろ丸」（シップ・オブ・ザ・イヤー2014受賞）
見学会　1/28（木）及び1/29（金）の 12:40-13:40（無料）

◆場所：函館市国際水産・海洋総合研究センター
（http://center.marine-hakodate.jp/, TEL：0138-21-4600,  FAX ：0138-21-4601）

〇主催：　北海道大学 北極域研究センター
〇共催：　神戸大学海事科学研究科附属国際海事研究センター
横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター
東京海洋大学海洋工学部
〇協力：　（一財）函館国際水産・海洋都市推進機構
〇後援：　函館市、公立はこだて未来大学マリンIT・ラボ、（公財）笹川平和財団海洋政策研究所
（一社）海洋産業研究会、NPO宇宙利用を推進する会、日本リモートセンシング学会
海洋理工学会、（一社）海洋水産システム協会
（予定）日本海洋政策学会、日本航海学会、国立極地研究所
〇協賛　（公社）日本船舶海洋工学会

近年、海洋における重大事故、大規模自然災害は激しさを増している。更に水産資源のグローバルな管理と海底資源の開発、及び北極は次世代の重要テーマとなることが予想される。 海洋に係るこれら人類共通課題に対処するためには、海洋における高度情報通信網を確立し、宇宙から海底までを立体的に包含する「海洋全体の状況把握と総合的管理」技術の確立が戦略的に重要となる。 これは新たな海洋立国をめざす我が国にとって国益であると同時に使命でもある。

水産資源及び将来テーマとしての海底資源と北極の取組みから、将来に向けた「海洋と宇宙の連携」、特にそのための技術開発と産業振興の在り方を模索したい。

《セッション構成》　1月28日(木)午後　1：宇宙と観測の現状　2：水産と宇宙利用
（詳細は別掲）　1月29日(金)午前　3：海洋産業と宇宙利用　4：北極海と宇宙利用

◆申込方法（先着120名）　下記主催者URL①より申込用紙をダウンロードし、所要事項を入力の上、申込受付専用アドレス②宛に添付または直打ちしてメール送信、或いはプリントアウトしてFAX送信、何れかの方法によりお申込み下さい。

北海道大学 北極域研究センター①：　http://www.arc.hokudai.ac.jp/oss4hakodate/
本セミナー申込受付専用アドレス②：　ocean-space-seminar4@arc.hokudai.ac.jp

◆申込〆切　2016年1月15日(金)　（なお、〆切前でも定員になり次第、受付終了。席に余裕がある場合は、当日、会場においても受付いたしますので、上記アドレスまでお問い合わせください。）

◆参加費　セミナー：¥2,000〔学生無料〕（資料代含）、意見交換会：¥5,000〔学生¥2,000〕
（チャーターバス代含）　意見交換会会場は、函館駅前の「ロワジールホテル函館」
（http://www.loisir-hakodate.com/　Tel：0138-22-0111　）

※1/28（木）セミナー会場へは、冬季のため、タクシー利用で、相乗りを推奨します。夕方、意見交換会会場まではチャーターバスを用意しています。（別掲、「会場へのアクセス」を参照）
※1/29（金）の往路、帰路は、函館駅ー海洋研究センター間の公営バス（210円）が利用できます。
※海洋研究センター内および周辺には、レストラン、食堂等はありませんのでご注意ください。

# 海洋と宇宙に関する産学連携セミナー　第4回
# 「船舶・海洋への宇宙利用：技術開発と産業振興の在り方を考える」 プログラム

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 12:00 | 受付開始　（「おしょろ丸」見学の方も先に受付を済ませてください） |
| 第一日　1月28日　木曜日 | セッション | | 司会：木内英一・NPO宇宙利用を推進する会技術調査部長 |
| | | 14:00 | 開会挨拶：齊藤誠一・北海道大学北極域研究センター長 |
| | 宇宙と観測の現状 | 14:10 | 「人工衛星を利用した宇宙からの地球環境観測」<br>清水収司・宇宙航空研究開発機構（JAXA）衛星利用運用センター主任開発員 |
| | | 14:35 | 「超小型衛星による地球観測とその応用」<br>高橋幸弘・北海道大学宇宙ミッションセンター長 |
| | | 15:00 | 「衛星による海氷観測の高度化」<br>長　幸平・東海大学情報理工学部長 |
| | | 15:25 | ＜休憩15分＞ |
| | 水産と宇宙利用 | 15:40 | 「衛星利用による回遊する資源と希少動物のための海洋保護区の設計」<br>松田裕之・横浜国立大学環境情報研究院教授 |
| | | 16:05 | 「イリジウムSBDサービスを用いたIT漁業の取り組み」<br>和田雅昭・はこだて未来大学システム情報科学部教授 |
| | | 16:30 | 「衛星画像による漁場評価のための海底マッピング手法の検討」<br>南部亮元、松田秋彦・水産総合研究センター（FRA）　水産工学研究所 |
| | | 16:55 | 「ICT技術を応用したホタテガイの精密養殖管理支援システムの技術開発」<br>劉　陽・北海道大学北極域研究センター博士研究員 |
| | セッション | | ＜意見交換会　：18:30−20:30　（市内の会場へチャーターバスで移動）＞ |
| 第二日　1月29日　金曜日 | | | 司会：中原裕幸・（一社）海洋産業研究会常務理事 |
| | 海洋産業と宇宙利用 | 9:00 | 「データ同化による衛星データとシミュレーションの統融合とその活用」<br>石川洋一・海洋研究開発機構(JAMSTEC)地球情報基盤センターグループリーダー |
| | | 9:25 | 「環境調査における衛星通信の活用 −データの品質管理の観点からの事例−」<br>松村徹・いであ（株）取締役、環境創造研究所／海外統括本部 |
| | | 9:50 | 「海洋土木工事における宇宙・衛星情報の利用状況」<br>今村一紀・東亜建設工業（株）土木事業本部機電部長 |
| | | 10:15 | 「海洋資源調査産業の創出に対する取り組みの紹介と宇宙利用の発展性について」<br>河合展夫・次世代海洋資源調査技術研究組合(J-MARES)理事長 |
| | | 10:40 | ＜休憩10分＞ |
| | 北極海と宇宙利用 | 10:50 | 「今、なぜ北極がホットなのか？」<br>齊藤誠一・北海道大学北極域研究センター長 |
| | | 11:15 | 「現行GMDSS機器の使用実態と次世代GMDSS設備について」<br>今井尚義・（株）日本海洋科学コンサルタントグループコンサルタント |
| | | 11:40 | 「北極海航路支援サービスにおける衛星利用」<br>佐川玄輝　・（株）ウェザーニューズ氷海気象チームリーダー |
| | 12:05－12:40 | | 総合討論・閉会挨拶：廣野康平・神戸大学海事科学研究科准教授 |

（講師、内容等は当日変更があり得ることをあらかじめご了承ください。）

◆北海道大学水産学部練習船「おしょろ丸」 見学会（水産海洋研究センター前、徒歩1分）
〔シップ・オブ・ザ・イヤー2014漁船・作業船部門賞、H26.7.28建造、1,598総トン）
Ⅰ：1/28（木）12:40−13:40、　Ⅱ：1/29（金）12:40−13:30　（注意：函館駅行市営バスはセンター発 13:38 ）